

# プラス記事4%増、ニュートラル・マイナス記事6%減 **ホンダ、新車のネット販売が話題に** **7 - 9月期決算好調企業がランクイン**

10月度のプラス評価は78億9861万円、ニュートラル・マイナス評価は32億2548万円だった。前月と比較するとプラス換算値は4%増、ニュートラル・マイナスは6%減だった。10月は再編や新規事業参入が話題となった企業の順位が上昇した。また、7 - 9月期決算が好調だった企業も浮上した。

6位NTTドコモは、販売店で申し込めるスマートフォンの格安プランの発表やグループ2社の子会社化が記事化された。

ドコモと子会社の統合関連では、持ち株会社の13位NTTもグループ再編に絡んで取りあげられた。NTTはそのほか、環境問題の解決などに使途を限って資金を募る環境債（グリーンボンド）を発行すると発表。1回の発行額としては世界最大規模の約3000億円にのぼる金額が注目を集めた。

8位ホンダは、人工衛星を宇宙に運ぶ小型ロケット事業への参入や国内での新車のインターネット販売開始、中国で2030年以降に発売する新車をすべて

EVなどのモーター搭載車にする「中国電動化戦略」の発表など、話題が豊富だった。中でも、ネットを通じた新車販売は「日本で商談から契約までオンライン上で完結できるのは、国内自動車大手で初めて」（毎日）と注目され、10月の同社の「販売」の比率は44%を占めた。日経は3位トヨタ自動車が行った傘下社長の統合を引き合いに出し、「国内でネットを通じた直販が普及すればディーラー網の合従連衡が一段と進む可能性がある」と解説した。

11位グーグル（米）、16位アップル（米）、20位テスラの米3社は、好調な2021年7 - 9月期決算に関心が集まった。グーグルは決算のほかスマートフォンの新モデル『ピクセル6』発売や、アプリ配信サービス「グーグルプレイ」の手数料引き下げも記事化された。テスラは、先端企業の新たな集積地となりつつある米テキサス州への本社移転なども話題となり、2020年8月以来1年4カ月ぶりにランキング入りした。

## プラス記事掲載ランキング

換算値:千円

順位	企業名	換算値	主要な掲載要因
1	JR東日本	336,038	2階建て新幹線「E4系」が定期運行を終了。新幹線繁忙期の割増料金を拡大。
2	旭化成	206,613	日経「私の履歴書」に名誉フェローの吉野彰氏が登場。「人」96%。
3	トヨタ自動車	185,000	読売「@CARS」に全面改良の『アクア』が登場。「商品」38%、「生産」22%。
4	ソニー	184,226	産経「話の肖像画」に元CEOの出井伸之氏が登場。「人」89%、「販売」5%。
5	ファイザー（米）	171,850	米で5 - 11歳への新型コロナワクチン接種を許可。「商品」76%、「技術」16%。
6	NTTドコモ	150,202	格安スマホ2社と連携し系列販売店で契約可能な新プランを発表。「販売」43%。
7	TSMC	142,716	熊本に半導体の新工場設立を検討。ソニーグループが出資検討を表明。
8	ホンダ	135,693	小型ロケット事業への参入、新車のネット販売開始、中国でのEV戦略など。
9	ユーチューブ	123,842	朝日「知っ得なっ得」で「ユーチューバーになる」を連載。衆院選関連動画など。
10	スカパーJSAT	120,388	日経「未来面」に米倉英一社長が2回登場。「社長・会長」88%。
11	グーグル（米）	110,833	親会社が2021年7 - 9月期決算で過去最高益。アプリ配信の手数料引き下げへ。
12	メルク（米）	92,653	新型コロナ用の飲み薬を開発、米で緊急使用許可を申請。「商品」88%。
13	NTT	92,328	世界最大規模となる約3000億円の環境債の調達を決定。「経営」46%。
14	帝国ホテル	79,030	読売「あすへの考」に東京料理長の杉本雄氏が登場。「人」87%。
15	ツイッター（米）	77,996	日経「データの世紀」で議員と政党の過去9年分のツイートを分析。
16	アップル（米）	74,143	2021年7 - 9月期決算の純利益が62%増。ジョブズ氏の没後10年追悼動画など。
17	荏原製作所	72,657	京都国立博物館で創業者の畠山一清氏設立の「畠山記念館」の特別展。
18	三菱地所	71,685	日経「未来面」でSDGs戦略を紹介。「経営」74%、「生産」19%。
19	東京メトロ	69,999	読売「ジュニアプレス」で視覚障害者用の駅構内ナビゲーションシステムを紹介。
20	テスラ	68,665	2021年7 - 9月期決算で過去最高益を更新。本社をテキサス州に移転。